



マーシャル方面遺族会  
 (旧クエゼリン方面戦没者遺族会)  
 郵便番号 154  
 世田谷区野沢3-11-3  
 電話 03-424-4300  
 振替口座東京0-93487番  
 編集兼発行人 佐藤宗丕

### 昭和六十年

## 慰霊祭と総会の御案内

会長 浮田信家

明けましておめでとうございます。  
 皆様お健やかに新しいよい歳をお迎えのことと存じます。

恒例の慰霊祭と定期総会の御案内を申し上げます。

日 時 昭和六十年二月十日(日) 午前九時集合

(靖国神社)

慰霊祭 午前十時より昇殿参拝

定期総会 午前十一時より会務所で行います

議題 諸報告 会務計画 予算 役員改選

(今年から、慰霊祭の日を、御家族皆様と御一緒に参拝できるよう、二月の第二日曜日と変更しました。)

◎九段会館に宿泊を希望される方は、宿泊月日、住所、氏名、性別、年齢、電話番号を記入して、一月十五日迄に料金を添えお申込み下さい。宿泊料は、一泊二食付七、三〇〇円です。

◎直会旅行会を例年のとおり次のように行います。

乗物 往復とも大型観光バス

宿泊 箱根強羅温泉 強羅ホテル

(電話〇四六〇一三二一一代)

費用 小学生以上 一九、〇〇〇円(十日、十一日の各昼

食、宿泊料、飲み物、参観見学科、記念品、記念写

真代とも)

申込 一月十五日迄に住所、氏名、年齢、性別を記入し代

金を添えてお申込み下さい。申込み順に受けて、六十名で締切ります。同室ご希望は出来る限り考慮いたします。(以下十二頁へ続く)

### 目次

昭和六十年慰霊祭と総会の御案内	1
御案内 会長 浮田 信家	1
南瀛マリア観音像を参拝して	2
……キリバス共和国名誉領事	栗林徳五郎
環礁・談話室	4
……秋山 正清	4
……荒木 常子	4
……薬師寺理助	5
……池田 淑子	5
……高林 セヤ	5
……さい…副会長 佐藤 宗丕	6
……明るい明日のために	6
……東京都南方地域戦没者追悼式	7
……に参列して(一)田中 雄吉	7
……お便りの中から	8
……北原ひで子	8
……島袋 ヒデ	8
……及川 よね	8
……戦地からの便り	8
……西村 金一	8
……日本遺族会の戦跡巡拝計画	9
……(その二)	9
……運営規程 制定される	9
……「戦記シリーズ」完結について	10
……佐藤 宗丕	10
……マーシャル諸島情報	11
……寄附者芳名	11
……事務局だより	12

# 「南瀛マリア観音像」を参拝して

キリバス共和国名誉領事  
栗 林 徳五郎

遺族会の皆様あけましておめでと  
うございます。

戦後四十年もたち、世の中は本  
当に目まぐるしく変わりましたが、皆様に  
とりまして一生忘れられない出来事  
は、やはり昭和十八年十一月から翌十  
九年二月にかけて起きたギルバート諸  
島・マーシャル諸島の戦いのことでご  
ざいましょう。

私は『南瀛マリア観音像』の御寄附  
の名簿を作るに当たり、昭和十八年十  
二月二十一日の新聞を、つぶさに拝読

致しましたが、それは過去の出来事と  
言うより、きのうであり、また明日で  
あるような鮮明な感動を覚えました。

一つの民族が大きな渦を巻いて、戦  
火と悲惨の中に巻き込まれたあの事実  
は、私も忘れることは出来ません。

そのような思いで昨年の八月十四日  
の夕方、現地に住んでいらつしやる新  
藤御夫妻の御案内で、マリア観音像の  
前に立たせて頂きました。南の夕陽を  
いっばいに浴びて、マリア観音像は、  
和やかに静かに建たれておりました。

新藤さん御夫妻も、『本当にマリア観  
音像が完成して良かったですね。ここ  
に住む私共の安らぎにもなります。』  
とおっしゃって下さいました。(注一)

私がキリバス共和国を訪れたのは、  
今回が初めてです。マリア観音像があ  
るベシオという小さな島は、車で二十  
分も回ると終わってしまいます。

その海岸線には、今も錆びついた砲  
台や、トーチカが散在しています。

私がキリバスにいる間、もう一人の  
御夫人が慰霊、参拝をしておられまし  
た。その方は、札幌の下里梅子さん  
(注二)という方で、やはりここで御主



新藤さんとマリア観音に参拝



栗林 名誉領事  
キリバス エレミア・タバイ大統領  
イギリス ハイコミッショナー  
栗林夫人  
(タラワエアーポートで)

人を亡くされてから初めて参った方  
です。御主人を亡くされた方の気持とし  
て次のようにおっしゃっておられまし  
た。『この戦火の残骸はどうにかなら

ないものでしょうか。日本人としても、  
キリバス側としてもどうしてもこの思  
い出は残したくないものです。浜辺に  
降りると無数のヤドカリが蠢いており  
ました。それは、まるで亡くなった数  
千の兵隊さん達の魂が蠢いているよう  
で、私は思わずそこにしゃがみこんで  
しまいました。でも私は、本当にキリバ  
スに来て魂が救われました。主人もき  
つと喜んでくれていることでしょう。』  
キリバスは、広い広い海域を領する  
人口六万の貧しい島国ですが、人々は  
本当に暖かく、思いやりのある方々で  
す。ちょうど私の泊ったホテルの二階  
の窓の前に、ヤシの実にビール瓶をぶ  
ら下げて、ヤシ酒を作っている人がい  
ました。私が如何にも飲みたそうにし  
ているのを見て、木からスルスルと降  
りてビール瓶を二本その場で届けてく  
れました。

また私は、クリスマス島方面の大臣  
と夕食を共にし、日本から持って来た  
日本酒を差し出すと、『おいしい、お  
いしい』と言って一本飲んでしまいま  
した。『是非クリスマス島に遊びにい  
らつしやい』と言われましたが、クリ  
スマス島に行くには、タラワから飛行  
機で三時間かかってホノルルに行き、  
またさらにホノルルから三時間かかっ  
てクリスマス島に行かなければなりま  
せん。それは、キリバスは自分の国で  
タラワからクリスマス島に真っ直ぐ飛  
べるような飛行機を、持っていないか



らです。  
 キリバスの人々は、是非日本といろいろと交流して、自分達も豊かな国になりたいたいと願っておりました。しかし、物質文明が発達してすっかり心や世の中が乾いてきた日本の現状を思うと、

私は何か複雑な気持ちになりました。

マジュロからキリバスは、ちょうどプロペラ機で二時間かかります。このたび、日本政府の供与で完成したマーシャル方面平和記念公園は、キリバスのと比べてまるで対称的でした。風の吹く乾いた浜辺に、まるで日比谷野外音楽堂のようなコンクリートの客席があり、平和像も博覧会にでも飾れるような現代的なデザインでした。ここでは戦争の悲しみとか、過去の思い出は忘れて、家族と一緒にハンバーガーでも食べながら、ピクニックを楽しむといった雰囲気でした。それがなぜか、キリバスとマジュロの違いを表しているように思われました。

マジュロは、この一、二年近代化の途を急速に辿り、四〇〇〇mの大飛行場を完成させ、イギリスから三〇億の借款をして、発電所を造り、またこのクリスマスには、グアムの大きなスーパーマーケットがオープンする予定でもあります。アメリカと日本の文明を、どんどん急速に取り入れるマジュロ、またそれはアメリカの予算も大いに、

頂くことが出来ます。

昨年の九月末に、マーシャル諸島のカブア大統領、ミクロネシア連邦のナカヤマ大統領、パラオのレメリック大統領が同時に来日し、中曽根首相と親しく面談し、今後の経済協力を約束しました。

さらに加えて、グアム・サイパン・パラオなどには、日本の大型ホテルなどがどんどん進出し、今年もグアムには、全日空の四〇〇室のホテルが予定され、サイパンには、日航ホテル・ダイヤモンドホテルの進出、パラオには、クリスマス前に、東急の高級ホテルがオープンすると聞いております。

ついですが、私が会長をしております南洋群島協会では、来年の七月七日に、サイパン・スーイサイドクリフに建つマリア観音像を参拝した後、パラオの東急ホテルで、第二〇回年次大会を開く予定しております。皆様も出来ましたら気分を変えて、このような大会に御参加下されば嬉しく存じます。

昔の表現を借りれば、もはやグアム・サイパンは日本の庭先です。マジュロもポナペ・パラオも、あと五年もしないうちにそうなることでしょう。しかし、なぜかキリバスだけは、遠い遠い島のように感じました。それと同じように、マーシャル方面の玉砕の地となったコージャリン(クエゼリン)は、日本人にとってはある意味では、また遠い遠い島です。そこは今、アメリカ

のミサイル基地となつて、我々日本人は簡単に行けない島となっています。その遠い遠い島という意味は、もし私達がいなくなり、それを忘れてしまつたら、日本人が訪れることもない太平洋の真ん中の小さな二つの島々で、そこで戦死された多くの魂は、ヤドカリの姿となつて、白い浜辺で泣いているのではないかという気持ちが押し寄せてくるのです。

今ここに、三体のマリア観音像が建ちました。日本の源覚寺の境内、サイパンのスーイサイドクリフ、そしてタラワのベシオ島、私達の心がこの御三体を結ぶことによつて、太平洋に広がるならば、こんな意義のあることはないと思ひます。

先程も書きましたが、文明は益々日を追つて発展します。太平洋の海から石油に代わる資源が発掘されたり、限りない熱や光から電気や肥料などが開発され、太平洋の民族が豊かになる時代が来るでしょう。しかし、我々の平和の祈りは、一番大切なものとして守り続けなければなりません。その意味で私はマーシャル・ギルバート方面遣族会の方々の御長寿と、尊いお仕事の継続を心から祈つて止みません。

(注1) 新藤若男さんは、国際協力事業団技術員で、本会は大層お世話になつております。

(注2) 下里梅子さんの御主人は、海軍一等兵曹藤沢 学殿です。

- オスカール・デブラム官房長官
- トム・キジナー文部大臣
- マーシャル アマタ・カブア大統領
- ステイブ・ミューラー外務次官
- トニー・デブラム外務大臣
- フィリップ・ミューラー大蔵大臣
- 栗林 名誉領事

↑(マーシャル首脳とマジュロで)

# 環礁 談話室

こんにちは、おげんきですか！

(クェゼリン) 秋山 正 清 (62歳)

①私はクェゼリン島で戦死した秋山門造の長男です。昭和十三年に海軍に入り、十六年の開戦直前に艦隊に出て、伊勢、摩耶、帆風、曙に乗組んで大東亜戦争に参加し、十九年十一月マニラ湾に於いて駆逐艦曙で敵艦載機と交戦の際負傷し、東京の軍医学校附属病院(現国立第二病院)で左脚大腿部より切断して終戦を迎えました。戦争中海の上は東西南北走り廻りましたが、マシーナル、ギルバート方面だけは行った事ありませんでした。

- ① 自己紹介、家族の状況
- ② 心に残る想い出
- ③ これからしたいこと
- ④ 会に対する要望
- ⑤ その他何なりと

(社名マヤ)を続けて居ります。子供は男二人ですが孫は未だです。

②心に残る想い出は、五十年に第一回のマシーナル慰霊団に参加して、始めて念願のクェゼリン島に墓参に行った事など沢山ありますが、何と申しても浮田様と佐竹様が、船旅による半年に及ぶ生命がけの現地調査、遺骨収集、慰霊巡拝を為し遂げて下さった事です。本年三月政府の慰霊巡拝団に参加して、六〇〇屯の小船で太平洋をがぶられながら、マロエラップ、ウオッセ、クェゼリンを巡拝して、改めて当時の御苦労と御功績を偲んだ次第です。

③これからしたい事、読書。

④本会に対する要望については、会長を中心に役員各位の献身的な御世話と、各界の絶大な御協力を得て、遺族が心一つにして二十余年に亘り歩んで来た実績は、絶対他に類を見ないのであり、只々感謝の他なく、特に要望はありません。この上は五十九年二月六日に改正された会則に則り、第四条(目的)達成のために、第五条(活動)を続けて戴きたいと願うのみです。そのためには次々と世代が引継い

て行く事が大切であると思えます。この事に関連して、環礁二六号に「二世の務め」と題して申述べましたが、私自身言うは易く行は難しで、仕事や遠隔地の関係等で御世話になるばかりであり、浮田会長様始め役員の皆様実に申訳けなく、何よりも御英霊に対して深く御詫び申上げる次第です。

⑤父の想出を一つだけ書かせて戴きます。それは私が中学二年生の頃、家族に、「部下は陛下の赤子である。私は陛下の赤子を御預りして居るのである」と訓した言葉が忘れられません。この言葉には大別して二つの意味があると思えますが、一つは部下を大切にす、可愛がるという言葉だと思えます。クェゼリン島に於いて空海陸の敵大軍を邀撃して、「味方は最後の兵となるまで本島を死守すべし」と麾下部隊に命令を下した父の心中は如何ばかりであったろうか。又その命令に従って勇戦奮闘、全員玉碎された部下將兵を思い、泉下で感涙に咽んだのでなからうかと想像致して居ります。

(香川県観音寺市柳町)

(ブラウン・クェゼリン)

荒木 常子 (57歳)

①海軍の技術者であった父と叔父が、十九年二月、ブラウンとクェゼリンでそれぞれ戦死しました。私をこよなく愛してくれた父と、一年の内半分は留

守勝ちであった父に代って可愛がってくれた叔父を殆んど同時に失った事は当時女学生であった私にとって大変大きなショックでした。あれから四十年経った今日迄、同じ時、同じ場所で亡くなられた同じ想いの遺族の方々と環礁を通じ、慰霊祭を通じてお目にかかつてお話出来る事は本当に心が安まり又、心の支えとなっております。

戦中、戦後を姑と学生の私をかかえて一人活躍した母も、現在八十六歳となり目も悪く足腰も弱って、外出もままならなくなつて参りましたが、幸い二人共何とか健康に過して居ります。

②何と云っても昭和五十年遺族会で初めて現地墓参を計画された時、加えて頂き、クェゼリンそしてマジロを訪問した事です。島民の方や米軍基地内の方々の暖かいお心遣いに包まれて眠るクェゼリンの墓地の前に額づいた時の感動は今も尚私の心の中に息づいて居ります。又その帰路飛行機が僅かな時間ながら着陸した、トラック・ポナベ等の島々は亡き父が生前幾度か訪れていた処でしたので、山の緑、椰子の葉のそよぎまでが何かなつかしく呼びかけてくれている様で墓参に参加して本当によかったと今もしみじみ思つて居ります。

③・④出来れば父の亡くなったブラウンを一度訪ねてみたいと思えますが、何分にも老母を置いて留守も出来ず残念ながら高田様や片山様に頂いたブラ

ウン島の写真を眺めてかの地を偲んでおります。

会員の方々も次第に御高齢になられました。皆さんこの会を唯一のよりどころとされている方々が殆どの様にお見受けします。その皆さんが楽しみに集まって参拝出来ませう様、年一度の二月の慰霊祭は、ささやかでも今後も続けてゆかれませう様、会員各自が力を合せて努力してゆきたいと思えます。最後になりましたが今日会をここまで盛立てて下さいました。会長様はじめ各役員の方々のお骨折りに心から感謝致します。

(東京都目黒区鷹番三ノ一七ノ一九)

(マロエラップ) 葉師寺 理 助

(53歳)

▽海軍予備学生として出征した兄立男は、昭和十九年春マロエラップのタロア島で戦死。村の遺族会長をしていた父も既に逝き、次男の私がわが家の先祖の祭主。間もなくお盆。わが家のお盆行事は、毎年、約八十km離れた郷里からご任職をお迎えしてお経をおあげいただくことから始まる。それも盆前の土曜の昼がお決まり。昼食はいつもお供の運転手さん、家内もいっしょ。般若湯をたいそうおたしなみになるご住職で、盃を傾け給うこと概ね二〜三時間。私も共に酔うにつれ話は又しても亡き父母や兄のこと郷里のこと。これも結構なお盆供養かと自画自賛。そ

して八月十四日は檀那寺で檀家総出の施餓鬼供養。例年、万難を排してこれにお参りし、その足で墓参。夏空に汗して石碑を洗い、タイマツをたく。猛暑の中のお盆行事が今年も目前。

▽五十一年にマーシャル遺族会があることを教えられ、加入させていた。以来、毎回「環礁」をありがたく拝見。会の存廃議論まであったことも知りました。確かに、戦死者の近親者が年々減少していくのは事実でしょう。会運営に、今後いっそうの苦勞が重なるうことは想像に難くありません。しかし、毎号の紙面からも伺われますように、この会や「環礁」を何らかの拠りどころにしておられる会員が、かなりおいでの模様です。そういう私も、兄や父母の供養のひとつの拠りどころにさせていた。いてはいるひとりです。それにもかかわらず、会に失礼ばかりしている私のごときが、潜越至極のことを申しあげようですが、会長、副会長様、役員皆様のご苦勞は重々ご推察いたしながらも、この会と「環礁」が一年でも一号でも長く存続することを願わずにはおれません。

こんなことを申し上げる以上、来たる二月の慰霊祭には是非ともお参りしなくては。上京の節早い機会に一度、世田谷の遺族会などをお訪ねさせていただかなくてはと、心ひそかに念じている次第です。(59・8月記)

(岡山市藤原光町二二〇―二)

(ブラウン) 池田 淑子

(41歳)

①故寺西正俊の長女です。富山県の片田舎で自営業(野球用バット及びゲートボール用品製造)を営む主人と子供三人義母との六人家族。

今日の平和・幸福は、亡き多くの英霊のお蔭と日々感謝しています。義母(74歳)が数年前に大病され治癒したものの少々不安はありますが、今のところ全員健康で家業、学業とそれぞれ頑張っている毎日です。

②マーシャル方面遺族会の三十年祭に初めて出席し、日本中の同じ思いを一つにする同志とお知り合いになれたこと、特に環礁で「ブラウン玉砕直前四十日」を執筆された高田源次郎様には大変お世話になりました。

③来春の日本遺族会の戦跡巡拝のマーシャル班に参加希望しておりますが、本会からも予定があるのでしょうか？

④本会の役員の皆様にはいつも御多忙の中、微に入り、細にわたってお世話いただき、ただただ頭の下がる思いです。遠くにおりまして何の助けも出来ませんが出来る限りの協力はさせていただきます。

①幸にして健康には恵まれ織物業に従事しています。いまだ現役。休日以外自分の時間とて無いのが残念。仕事に追われているうちにいつの間にかやら人スタイルになり、乗物も苦痛となり慰霊祭にも自然に体が遠のく。参加できる日を待っています。

②五十年のクェゼリン島墓参慰霊の想い出。現地墓参に参加できた事、清掃されたきれいな墓地、碑の下に眠る霊と話もできた事、またマロエラップ島の戦跡もこの目で見る事ができ、またお別れにマジエロの皆さんとのたのしい合唱、あれも、これも、みんなの思い出として、心に残っております。

(クェゼリン) 高林 七 キ

(68歳)

③このままでよいが、若い人たちに、どんどん入会してもらい、この会を長く続けてほしいと思います。

④環礁編集に対しては、誠にお手数ご苦勞の事と思えますが長く発行、続けてほしいものとお願ひ致します。

寒さに向います折柄、ご自愛をお祈りいたします。

(新潟県栃尾市金町二の三の十八)

↓

↓

(富山県西砺波郡福光町七二二九)

### 本会の存続と発展に

#### 御協力下さい

副会長 佐藤 宗 丕

ギルバート・マーンシャルの戦いから四十年を経て、遺族の多くは他界され又は老い、戦歿者に近い肉親は減る一方です。

57年末以来本会の将来に不安を持つ一部の役員から、発足20周年を機に本会を解散するようにとの提言があり、役員会で数度協議の末、『会員の多くは心のよりどころとして本会の存続を望んでいる。又、クエゼリンとタラワに本会が建立した慰霊碑は、私どもがお守りしなければならぬ』ので、活動の一部を縮小するとしても会の灯を絶やさず存続させることとなりました。

私はこの際、本会を続けたいと願う皆様に改めて次の四点をお願い致します。  
一、毎年二月の定例の慰霊祭には御家族皆様お揃いで御参拝下さい。  
今年から、家族全員御一緒にお詣りできるように、慰霊祭を二月第二日曜日としました。

二、会費完納に御協力下さい。  
本会の活動に必要な経費はすべて会員の皆様の拠出する会費と、善意の寄附金で賄われております。

同じ遺族ですから会費を納めなくなった方にも環礁をお送りし続けたのは山々ですが、これには限度があります。苦衷をお察し下さい。但し、環礁は読みたいが、会費は納められないと言う方は御遠慮なくお申下さい。

尚、二月の慰霊祭に参加されることと会費は関係ありません。会費を納入されなくても慰霊祭にはおいで下さい。

三、環礁への原稿と、本部への折々のお便りをお待ちしております。環礁は同じ境遇の私どもの「ふれ合いの場」です。健康上又は勤務の都合などで靖国神社においでになれなくても環礁を通じて心が通い合います。環礁をよりよくするための御意見、御教示をお寄せ下さい。

四、この度会務処理の重要な部門を、各種委員会に担当して頂くことになりました。委員は役員及び一般会員の中から適任者を選考して会長から委嘱することになります。

奉仕をすることに喜びを感じる人であれば、年齢、性別等に何の制限もありませんので、御協力下さるお気持ちのある方は、本部に電話又は、はがきを下さい。職務の内容などを御説明いたします。

尚、役員や委員には会則によって報酬も御礼も差上げられませんので予めお含みおき下さい。

### 明るい明日のために

#### 健康づくりは「歩け、歩け」

家庭でも出来る運動について、順天堂大学体育学部の青木純一郎助教授にお話を聞きました。

心臓病のリハビリでジョギング中心不全を起こし死亡したという、最近のニュースを覚えている人も多いことでしょう。ジョギングくらいと軽視したり、自信過剰は事故のもとです。

「区や市などの体力テストで、途中でへばる。ゆっくり走れないんです。激しくないと運動じゃない、と誤解しているんですね。激しい運動ほど長続きせず、危険も大きいことをまず認識してほしいですね」と青木助教授は言っています。

#### ◇ 歩くことの効用

運動不足の典型が入院患者です。寝ていることが多く、心臓の働きや筋力が衰える、バランス感覚が落ちる——といった弊害が出てきます。その対策が「立つ」と「歩く」こと。青木助教授は以上の点から、素人が安全でかつ簡単にやれる運動方法として「歩く」ことのすすめを呼びかけています。

歩き方は、健康な人なら早歩きで一日十五分から三十分歩き続けます。ただし、途中で休んだり、何回に分けて歩くというのは効果が薄いそうです。

なぜなら、十五分以上持続する運動は肥満を防ぎ、ひいては動脈硬化や糖尿病の予防につながるため。青木助教授によると、運動開始後の十五分間は炭水化物がエネルギーとして使われ、体にたまった脂肪が使われるのは大体、運動開始十五分後から。したがって、十五分以上、歩き続けられれば、かなりの効果が得られるのです。

「ジョギングやテニスのラリーを十五分以上続けるにはかなりの練習がいります。無理なく十五分以上運動を続けるには歩くことが一番」と指摘するのうなずけます。

#### ◇ 筋力づくりには

次にやるのはストレッチング。歩くことで、心臓の強化や足、腰の筋力やバランス感覚は養えますが、上半身の筋肉は鍛えられません。歩くことの不備をストレッチングで補いましょう。

やり方は自由です。上半身を左右にねじって、そのままの姿勢を二〜五秒間維持するのも良いし、上体を前後に曲げ伸ばし、同じように二〜五秒間、その姿勢を保つのも効果があります。ラジオ体操やダンスを利用してストレッチングを行うこともできます。一つの動きを途中でやめ、二〜五秒間、その姿勢を保つのがコツです。

ストレッチングは筋力をつけ、柔軟性を養います。腰痛対策や姿勢の矯正に役立つ運動です。

(医療健康紙サンヘルスより転載)

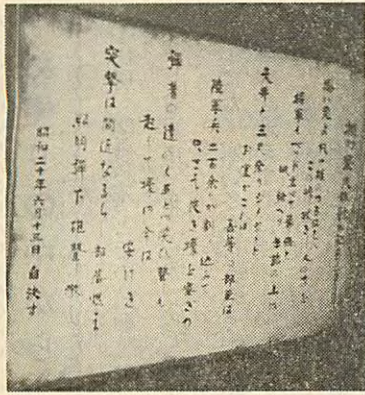
### 昭和五十九年度東京都南方地域戦歿者 追悼式に参列して (一)

田 中 雄 吉

表題の追悼式にマーシャル方面遺族会の代表として参列する機会を得て、改めて本会の歴史の重さと、発足以来の歴代会長はじめ幹事役員各位の御苦心御努力がよくわかった次第です。

第一日目(十月二十六日(金))

羽田空港発日本航空九〇一便にて一行一三〇名は途中雪を頂いた富士山を右に見て那覇空港着。三台の貸切バスに分乗して昭和四十二年に発見された東洋一を誇る鐘乳洞「玉泉洞」を見学首里を廻り琉球王城への、第一の門である有名な「守礼之邦」を見る。これは御承知のように今次大戦の際に破壊され、現在見られるものは一九五八年に詳しい記録のもとに再建されたものです。(宿舎は那覇東急ホテル)



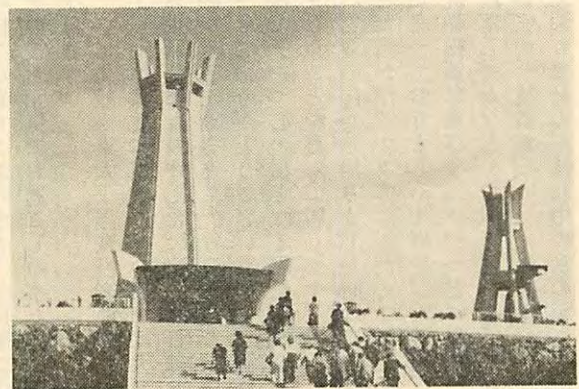
第二日目(十月二十七日(土))

午前八時宿舎発。まず豊見城(とみぐすく)にある旧海軍司令部壕に向う海軍司令官太田実中将以下が作戦を展開した所で、同司令官が自決前に海軍次官宛打電した『沖繩県民かく戦えり、県民に対し後世特別のご高配を賜らんことを』の電文に感動する。本土復帰後の沖繩は政府より果して、どのような配慮を受けているのでしょうか。尚壕内の太田司令官室にも辞世が残されていますが、南西諸島航空隊隊司令部令棚町整海軍大佐の歌日記は、当時の壕内の様子が目に浮かぶよう胸に迫るものを感じました。

(上の写真)

思い見よ 只一槌の つるはしに  
この壕 抜きし人の力を  
將軍も ベッド並べて 幕僚と  
眠り給えり 缶詰の上に  
天井と 三尺余り ジメジメと  
お室か これは吾等の部室は  
陸軍兵 二百余りが 割り込みて  
只さえ 狭き壕を塞ぎつ  
弾着の 遠のくあとに 笑ひ声も  
起りて 壕内今は安けき  
突撃は 間近なるらし 部落燃え  
照明弾下 砲撃激し  
(昭和二十年六月十三日 自決す)

右の写真は昭和五十三年十月一日に開堂された『沖繩平和祈念堂』で、沖繩



県民の平和への悲願と人類の悠久平和の祈りをこめた、高さ十二メートル、幅約八メートルの壮麗な合掌座像が安置されています。これは故山田直山画伯が数年の歳月をかけ心血を注いで制作した仏像にて、沖繩伝統の漆工芸である立体堆錦の技法を駆使した世界唯一の大変立派なものであります。

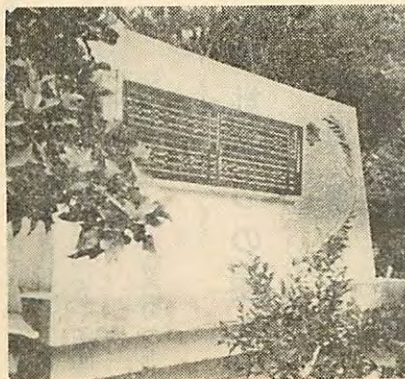
次に「健児の塔」をそして下の写真、  
くひめゆりの塔を見学致しました。  
伊原部落東方三〇〇米にあるこの塔は戦局不利の中、南部地区に後退した陸軍病院に、特志看護婦として配属された県立第一高女及び沖繩女子師範生徒一四三名、教師十五名に解散命令が出されたがその連絡を受けた時は、すで

に脱出不可能であり、生徒達はもはやこれまでと全員制服に着替え、校歌を唱い祖国の勝利を信じ最後をとげた所です。

いわまくら かたくもあらん  
やすらかに ねむれとぞいのる  
まなびの友は

やせたさとうきびと芋畑の間を行くと海岸の近くに「魂魄の塔」がある、この付近は米軍の陸海空三面からの攻撃に、疲労しきった兵隊と住民とが最後の勝敗を決すべく、むなしい抵抗をした最激戦地跡で、戦後生き残った村民達が一面に散らばっていた三五〇〇柱の遺骨を集め塔を建てたものである。現在はこの遺骨を五年前に改めて焼骨して、中央納骨所(今は政府の手により沖繩戦歿者墓苑―後述―)に納骨されております。

(以下次号)



### お便りの中から

①住所 ②戦没者とその続柄

浦和市 北原 ひで子

例年になく寒い冬もようやく去り暖かい花の春を迎えました。

このたびは環礁40号をお送り下さいましてありがとうございます。早速拝見いたしましたところ、昭和十九年二月二十六日付のクエゼリン、ルオット玉砕、又、タラワ、マキン玉砕の新聞があつて、当時のことなど思い込んでおります。

戦後四十年もの間遺族のお世話をいただき感謝に堪えません。私の夫もマーシャル群島のウォッセ島にて戦死いたしました。今日まで辛い悲しい歲月でございました。私は旧満州奉天におりましたので、引揚以来苦しい生活の中で子供を育てて参りました。

このような立派な遺族会があることなど全く存じませず、何とかして戦友の方々とか遺族の方々とつながりを持ちたいものと念願しておりました。

南海の孤島ウォッセ島の墓参を生涯の悲願としております。

私もこの程定年退職しましたので、老先を思う時一年でも早く墓参したいと思つています。この会のごことは、日通航空の平山三郎様に教えて頂きまして。亡き人の導きと感泣いたしております。

ます。皆様のお仲間に加えて頂きとう存じます。……………略 (59・4・15)

① 浦和市南元宿二三八一三  
② 海軍上等兵曹北原百次郎殿の妻

沖繩県 島袋 ヒデ

拝復 写真と共にタラワの記念切手をお送り下さいまして有難く受領致しました。浮田会長様には高齡を召されていても若者以上の御健康な御身体にあやかりたく存じます。いつまでも記念としていや御守りとして大切にいたします。

さて三十有余年に渉り遺族会の為長い間働き下さり、本当に頭の下がる思いです。あの様な遠い異国の地に何回となく身を運び今日まで引率者として責任を果して下さいました会長御夫妻に對し改めて御礼を申し上げます。遠く沖繩に住む私達遺族はこの様な歴史のある遺族会の存在を知らず、会長様以下の役員の方々の御苦勞を今知り本當に恥しい次第です。御送附頂いた機関誌「環礁」を拝見感謝致して居ります。

私は県立農業試験場に働いていました。七年前に定年退職し、必ず主人戦死の地を訪ねていつかは一度は参拝にと思つて居りました。今回念願の慰靈巡拝が出来ました事を心から大変嬉しく思つて居ります。

田舎者のこととして巡拝中も又これから先も皆様に御迷惑をおかけしたり、

又御世話になる事が多いと思つていますが何卒末永く宜敷く御願ひ申し上げます。巡拝中は皆様の暖かい御心づかいに接し嬉しく一生忘れることが出来ません手紙をあまり書いたことがないので読みにくい間違いだらけの文章や失礼な点が多々ありますが、お許し下さいませ。会長御夫妻様の益々御達者であられんことをお祈りします。先は御礼まで

① 沖繩市字美里一二六  
② 海軍兵曹 島袋昌信殿の妻

長野県 及川 よね

敵しかった寒さもようやくやわらいでここ奥信濃路も春の気配のたただよう今日この頃でございます。会長様にはその後お元氣でお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて先般「東太平洋戦没者の碑」竣工、追悼式並に慰靈巡拝の旅では大変お世話様になりました。又一昨日はお願ひ致しておきました写真お送り頂きましてありがとうございます。御蔭様で又一つ心の糧となる思い出が増えましたことを喜んで居ります。

常夏の国から帰りました時は当地はまだ雪が深く少々体にこたえました。がたまつておりました仕事や、入学祝、就職祝等に飛びまわりやと一昨日一段落してホツとして居るところでございます。技術が拙いため余りよくとれておりませんが旅行中の私のカメラに

ありました写真、わずかですが同封いたしますのでお納め下さい。  
① 佐久市岩村田二二一五一一四四  
② 海軍一等機関兵曹 及川勝治殿の妻

### 戦地からの便り

兵庫県 西村 金一

発信者 海軍軍属 西村 喜造  
18・11・25 タラワで玉砕

横須賀局気付 ウ六六ウ一九一  
志村班

拝啓 小生その後永らく御無沙汰に打過ぎました。皆様には益々御壮健に日々をお過しの事と思つています。さて小生もお蔭様にて元氣に勤務して居りますから御安心下さい。近く正月も迫つて年末で御多忙の事と存じますが御一同様には結構なる新年をお迎へあらんことをお祈り申し上げます。尚銀平叔父様にもどうぞよろしくお伝え下さい。ではいづれ又便りを致します。とにかく元氣な所をお知らせします。

敬 具

(注) 本便は父宛の軍事郵便葉書便であつたが文中の銀平叔父なる人物は実在せず当時私達留守家族にギルバート諸島に派遣された事を苦心の末、報せてくれました。それは数十便の音信の中で当時の推定が當つていた事を次の文中に見出されました。



横須賀局気付 ウ六六ウ一九一

黒川班

拝啓 御地も愈々向寒の候と相成り  
皆々様には元氣にお過しの事と存じま  
す。さて私事その後永らく御無沙汰致  
しましたが、お蔭にて無事に日々の  
勤務に邁進して居りますれば御安心下  
さい。過日金一兄より手紙受取り色々  
と統後にある皆々様の心構えの一端を  
ば知り誠にたのもしく心強さを感じて  
いる次第です。

発送された慰問袋、受取る日を楽し  
みにして居ります。あなたが私の居ると  
信じて居られる正にその方面に居りま  
すれば御通知申し上げて置きます。江  
戸堀青年団も統後の青年として活躍さ  
れている事と思います。衣料品も配給  
品の種で十分で別に不自由を感じない  
位です。薬品、日用品なども別に心配  
ありません。願はくば第四種郵便位な  
ら続々来ている様ですから、週報、新  
聞、雑誌等お送り下さい。

私もこの夏一年程特に変化もなく日  
々の事務的作業に無事過して来ました  
無病で怪我一つなく活躍し得るのも皆  
様の絶大なる声援の賜と思つて励んで  
います。しかし第一線の事としていつ如  
何なる事態が生じるやも知れず小生覚  
悟は十二分に致している積りです。

第一線にある私達も貯蓄助行がやか  
ましく、毎月あたる小遣い三〇〇円の一  
部を貯金して来まして現在高四〇〇〇円  
程になりました。

祖父様初め父上母上にもよろしくお  
伝え下さい。貴兄も今後共十分ご自愛  
ご精進あらん事を切望してこの文信を  
とじます。

(注) 後に掲げた使は玉碎二ヶ月前位に発  
信されたと信ぜられ、内地の私の手許  
には十一月頃到達しました。これは封  
書で長文でした。後便数通と共に遺書  
として大切に保存して居ります。

日本遺族会の慰霊巡拝(その二)

日本遺族会の戦跡慰霊巡拝計画につ  
いては前号で概要をお知らせいたしま  
したが、その後更に計画が進んで、次  
のとおりになりました。

中国、ソ連、ニューギニア方面は割  
愛しますので、知りたい方は同会にお  
問い合わせ下さい。

◎ トラック、マーシャル班

成田―グアム―トラック(一泊)―マ  
ジュロ(四泊)―マロエラップ―ウオ  
ッゼー―ブラウン―クエゼリン―グアム

(一泊)―成田(六泊七日)

◎ トラック、ギルバート班

成田―グアム―トラック(一泊)―マ  
ジュロ(一泊)―タラワ(二泊)―マ  
キン―マジノ(一泊)―グアム(一  
泊)―成田(六泊七日)

募集人員 各班とも 十五名  
実施時期 六十年三月上旬の予定

参加費用 各班とも 約四七万円  
申込締切 六十年一月二十五日

参加希望者が予定人員に満たないコ  
ースについては巡拝を中止することも

ある由です。十一月二十日現在の申込  
者は次の方々でした。

○ トラック、マーシャル班(十一名)  
中林謙三、池田淑子(富山) 倉本作二  
(東京) 桜井きみの(宮城) 秋本キン  
谷達也(神奈川) 栗原利雄、栗原良造  
榎本ふく、秦 せつ子、関口仙之助  
(東京)

○ トラック、ギルドート班(一名)  
吉田貫治(北海道)

ブラウン島は今までは中々行きにく  
い島でした。ギルバート班はまだ人員  
に余裕があるようです。

お問い合わせと参加申込先は  
各都道府県遺族会 又は  
財団法人 日本遺族会本部

〒105 東京都千代田区九段南一―六―五  
電話 03―261―五五二一

運営規程制定される

本会は、会員の高齢化、減少などに  
より前途に一層のきびしさが予想され  
ますので、これに対応するため会の運  
営と会務処理に新たな態勢をとること  
とし、59年11月10日の役員会で、次の  
とおり運営規程を定めました。

マーシャル方面

遺族会運営規程

(59・11・10制定)

す。  
第二条 この会に次の各種委員会を設  
けます。

一、広報委員会

会報「環礁」の編集、発行、発  
送およびその他の広報活動を行  
います。

二、慰霊祭実行委員会

定例および臨時の慰霊祭の実施  
にあたります。

三、直会委員会

直会の立案および実施にあたり  
ます。

第三条 各種委員会の委員は、役員会  
の議を経て会長が委嘱します。

第四条 会則第八条第一項第二号によ  
り、会長が副会長ほかの役員を指名  
するときは総会の同意を経るものと  
します。

第五条 名誉会長、顧問、相談役の任  
期および篤志会員の委嘱期間は、そ  
の時点で在任する会長の任期と同一  
とします。

第六条 役員が、心身の故障等により  
その職務の執行が困難になつたよ  
り、またはこの会の役員として相応  
しくない行為をしたときは、役員会  
の決議により辞任を勧告することが  
できます。

第七条 前条の規程は各種委員会の委  
員にも準用します。

第八条 この規程の改廃は役員会で定  
めます。

第一條 この会の運営と会務の処理は  
会則およびこの規程によって行いま

「戦記シリーズ」  
完結について

佐藤 宗 丕

環礁22号(50・1・1発行)以来殆ど毎号にはさみこんでお届けした戦記シリーズは今回を以て完結のことといえます。

1~14頁には、故林幸市様(本会篤志会員、玉砕直前まで第6根拠地隊参謀)松平永芳様(本会篤志会員、現靖国神社宮司)長谷川敏様(本会篤志会員、元アジア航空測量隊)に御執筆頂いた『クエゼリン島の今と昔』をそのまま転載いたしました。

15頁から最終の54頁には『大東亜戦争中 内南洋諸島方面の作戦経過』が掲載されております。この項は浮田会長が自ら長い年月をかけ心血を注いで入念に編輯されたものです。その資料は、帝国海軍の残務処理を受持った厚生省第二復員局が26年10月にまとめた「内南洋群島方面の作戦」及び51年に防衛庁戦史室から刊行された「戦史叢書」を基幹としており、内南洋に関しては第一級の文献であります。

お手許の環礁の各号から取り出して56年8月発行の「クエゼリンとロイナムル戦記」II環礁36号別冊、と共に綴りこみ下さい。

環礁 戦記シリーズ 目次

ありし日のクエゼリン…林 幸市…1

マーシャル群島…クエゼリン環礁…原住民の生活…日本の統治…軍艦常務の巡航…マーシャル方面防備部隊…クエゼリン島の初空襲…隊員の生活…慰問団の来島…ミッドウェイ海戦の前後…米海兵隊捕虜処刑…陸軍部隊の増強と主要島の築城…南洋部隊の防衛作戦会議と玉砕戦準備

クエゼリン島の防衛戦…松平永芳…9  
マーシャル方面の一般戦況…クエゼリン島の激戦

最近のクエゼリン島…長谷川 敏…11  
旧内南洋諸島の現状…太平洋信託統治地域…マリアナ群島…マーシャル群島…カロリン群島…最近のクエゼリン環礁…米軍の基地…戦火の跡

大東亜戦争中 内南洋諸島方面の作戦経過…浮田信家編…15

第一章 ギルバート諸島方面の作戦  
第一節 開戦当初におけるギルバート諸島方面の作戦…①ギルバート諸島戦略的地位…②開戦前の形勢…マーシャル諸島方面への兵力配備…ギルバート諸島方面に関する情報…③開戦初期のギルバート諸島方面の作戦…作戦方針…兵力部署…作戦経過の概要…爾後の状況

第二章 米海兵隊のマキン奇襲…17  
第二節 敵来攻以前の状況…②米海兵隊のマキン来攻時の状況…マキンの陸上戦闘

状況…南洋部隊の作戦指導の概要…  
第三節 ギルバート諸島方面の防備強化…  
①ナウル及びオーシャンの占領…②タラワ、アバママの占領…③その後における海軍兵力の増強…④陸軍部隊の増援問題…⑤防備施設の状況…

第四節 米軍のギルバート諸島来攻前の諸情勢…  
①我軍作戦指導方針の概要…大本営の作戦指導方針…聯合艦隊の作戦指導方針…②第三段作戦初期の戦況とギルバート諸島方面作戦との関連…昭和18年中期以降中部太平洋方面の戦局推移の状況…南東方面作戦の遂行がギルバート諸島方面作戦に及ぼした影響…  
第五節 米攻略軍のギルバート諸島来攻に伴う作戦状況…  
①敵来攻直前の状況…南東方面の状況…内南洋方面の状況…②我軍兵力配備の状況…海軍兵力配備状況…陸軍兵力配備状況…③我作戦指導の概要…④陸上戦闘の状況…タラワに於ける戦闘…マキン及びアバママに於ける戦闘…⑤航空部隊の戦闘状況…敵のギルバート諸島来攻直前の航空兵力配備…航空戦実施の概要…⑥艦船部隊の戦闘状況…水上部隊の行動…潜水部隊の戦闘…

第二節 開戦後に於けるマーシャル諸島方面防備増強の状況…  
①基地の使用状況…②海軍兵力の増強状況…根拠地部隊の状況…航空部隊の状況…その他…③陸軍兵力の配備状況…④防備施設の状況

第三節 ギルバート群島失陥以後に於ける中部太平洋方面の諸情勢…  
①敵の企図に対する判断…②我が作戦指導方針…大本営の作戦指導方針…聯合艦隊の作戦指導方針…昭和19年1月中旬に於ける聯合艦隊の作戦指導腹案…③作戦経過の概要

第四節 敵のマーシャル諸島攻略に伴う諸戦闘…  
①敵来攻時に於ける我が兵力配備…指揮系統…兵力配備…②全般戦闘状況…③クエゼリン環礁の戦闘…ルオットの戦闘…クエゼリン本島の戦闘…④マジエロ環礁の被占領…⑤ブラウン環礁(エニウエトク)の失陥…米軍上陸前の我方兵力配備…海上機動第一旅団の作戦準備…海上機動第一旅団の到着…米軍の上陸準備砲撃…エンチャビ島の戦闘…エニウエトク島の戦闘…メリレン島の戦闘

内南洋方面の作戦日曆…43~54  
18・11・23…43  
18・12・5…44  
18・12・18…45  
19・1・1…46  
19・1・21…47  
19・2・1…48  
19・2・9…49  
19・2・17…50  
19・2・23…51  
19・2・29…52  
19・2・18…53  
19・2・29…54

諸島の状況…  
①マーシャル諸島の戦略的地位…②マーシャル諸島の防備開始と兵力の展開

### マーシャル諸島情報

マーシャル・アイランズ・ジャーナル紙より

10月12日号より

#### 『3千枚の写真』

マジュロ発、10月9日

現在一つの覇気ある企てがアルーレ (Alele) 博物館の後援によって進められている。

マーシャルの有名な写真家であった、ヨアヒム・デブルム氏によって撮られたる千枚にのぼる貴重なネガフィルムを大切に保存しようとするものである。

ネガは現在離島のリキエツプのデブルム家が所有しており一九〇〇年前後のマーシャル (日本統治時代の前) の歴史、風俗を知る上でも重要な資料である。

10月12日号より

#### 『カプア大統領台湾訪問』

マジュロ発、10月10日

アマタ・カプア大統領は現在台湾の建国記念の式典出席の為に訪台中である。フォルモサ・レストランでは台湾関係者による盛大な歓迎会がひらかれた。

秋の各号より

#### 『最新の赤ちゃん』

マーシャル・アイランズ・ジャーナル紙にはユニークな赤ちゃん誕生の欄があります

いつこの家でお誕生があったか、パッチリわかります。ママの名前と年齢、赤ちゃんの性別と体重がのります。(さすがに母系社会だけあってパパについては書いてありません。)

一九八四年9月7日〜10月9日までの30日間で統計をとってみましたところ、生まれた赤ちゃんは70名。男の子が38名、女の子が32名でした。体重は男子の平均が三二・九グラムで最大が四五九・二グラム、女の子は平均三一〇・〇グラムで最大が四一九・五グラムでした。ママの最年長は36歳最年少はなんと14歳で10代ママは70名中10名でした。とにかくどの赤ちゃんもお健やか

### 寄附者芳名

(敬称略)  
(四二名)

本欄に掲載の会員各位は、年度会費御完納の上の御寄付であり本会運営に寄与するところ多く役職員一同いつも感謝申し上げます。一層節約を旨とし本務遂行に事欠かぬよう留意致しますので今後共御協力頂きたく御礼と共に御願ひ申し上げます。  
(昭和59年6月1日から昭和59年10月31日までに入金の方)

#### 篤志会員その他

一〇〇〇〇

島根 宏明殿

#### ◆神奈川県

一〇〇〇〇 母 福原 キチ

〃

中島新之丞殿

五〇〇〇〇

弟 金子 武晴

〃

松岡 実殿

三〇〇〇〇

兄 大槻惣一郎

五〇〇〇〇

永木 進一殿

〃

母 助川与富子

〃

村岡 達志殿

一〇〇〇〇

妻 田中トメノ

一〇〇〇〇

進藤 進殿

#### ◆新潟県

一〇〇〇〇 妻 藤田 ヨリ

一〇〇〇〇

母 小杉 リサ

八〇〇〇〇

弟 坪井 繁男

◆青森県

三〇〇〇〇

#### ◆長野県

三〇〇〇〇 妻 綾部はつゑ

三〇〇〇〇

兄 池田 精治

#### ◆富山県

二〇〇〇〇 妻 松田ふじえ

五〇〇〇〇

妻 新田富美子

二〇〇〇〇

妻 山田 八重

二〇〇〇〇

妻 渡辺 雪子

◆岐阜県

三〇〇〇〇 妻 山田 八重

一〇〇〇〇

兄 三浦 一郎

三〇〇〇〇

妻 山田 八重

一〇〇〇〇

妻 吉田 ハル

◆愛知県

二〇〇〇〇 母 安藤 昌子

一〇〇〇〇

父 小林 源衛

一〇〇〇〇

母 小山内小美賀

〃

竹林 高男

六〇〇〇〇

妻 高崎 シズ

一〇〇〇〇

兄 新後閑 彰

一〇〇〇〇

弟 谷 正文

◆群馬県

二〇〇〇〇

◆鳥取県

五〇〇〇〇 妹 井上 照美

一〇〇〇〇

弟 土岐 達雄

三〇〇〇〇

妻 内富みつよ

〃

匿 名

◆山口県

三〇〇〇〇 妻 泉田 君子

八〇〇〇〇

妻 出口 スエ

◆愛媛県

三二〇〇〇 妻 泉田 君子

一〇〇〇〇

石橋 湛一

三二〇〇〇

妻 泉田 君子

三〇〇〇〇 弟 長岡 俊夫

三〇〇〇〇 妻 一瀬クモエ

〃 母 橋本マサエ

〃 妻 深川 英由

◆宮崎県

二〇〇〇〇 妻 山内 キク

◆鹿児島県

二〇〇〇〇 妻 丸田 キワ

訂正 40号一般寄附者中の、篤志

会員その他の早川恒雄殿一〇〇〇

〇〇円と、41号一般寄附者の茨

城県 日出山 光一〇〇〇〇円

は、何れも南瀛マリア観音建立

資金への寄附でありました。お

詫びを申しあげ、訂正いたします。

南瀛マリア観音建立資金寄附者

一〇〇〇〇 (一名) 青山 綾子

△マリア観音関係 累計▽

六一七、〇〇〇円 (四七名)

× × × × ×

平和なる 国と栄えし礎の

英霊の心 吾等忘れじ

浄財を 便りに託し帰り来る

老いたる母の 瞳すずしも

(1頁直会旅行のつづき)

◎変更 申込み後の取消しは電話などで早く御連絡下さい。一月中に取消しの際は払込金全額をお返しします。二月になってからは取消料等を差引かせて頂きます。当日に近い程返戻額が少くなります。

◎コース 十日正午頃(慰霊祭、総会終了後)バスにお弁当、飲みもの等を積んで靖国神社を出発します。東名高速、小田原バイパスから一路箱根強羅ホテルに直行、早目に着いてゆっくりと温泉浴でくつろいで頂きます。

楽しい直会には、ホテル自慢の料理に芸達者な皆様のお国自慢などを御披露して頂きます。また、くじ引きも用意いたします。お楽しみに……

◎翌十一日は九時出発、大涌谷から見る富士山は雄大です。健康長寿の黒タマゴを御賞味下さい。桃源台、芦の湖を周遊して、山を下り、小田原の鈴広カマボコ工場を見学します。売店には箱根、小田原周辺の名産品が用意されています。

この大食堂で昼食をとり、電車でお帰りの人のため小田原駅に寄ります時間があれば曾我梅林を見たいと欲ばっています。

東名高速で東京駅に着くのは六時頃と予定しておりますが、お帰りのキップは一時間位余裕をみてお配下下さい。参加申込みはなるべくお早く。当日受付はできないと思います。

事務局だより

◎今年から定例の慰霊祭と総会は、毎年二月第二日曜日になりました。今年も、二月十日(日)です。

お勤めの方も、学校に通っている方もみんな御いっしょに靖国神社にお詣りに来ていただきたいからです。二月十日には御家族は勿論、御親族にも声をかけてお揃いでおいで下さい。

◎本号から「明るい明日のために健康を考える」コーナーを設けました。

人生八十年時代に対処するには、まずわが家族の健康を自分たちの知恵と努力で確保しなければならぬと思います。健康づくりの体験談などをお寄せ下さい。

◎ヘルス通信社発行の、医療健康紙「サンヘルス」に私どもにとって有益な記事が沢山ありますので、環礁に転載させて頂くことにしました。

◎6頁の会員の皆様へのお願いは、何れも本会の今後の命運に係る重要課題で、全役員のお願いであります。もう一度読み返して御協力の程をお願いいたします。

◎59年11月10日の役員会で本会の運営規程が制定され、つづいて各種委員会の委員が次の通り委嘱されました。(任期—60年2月末日まで)

◎ 広報委員  
佐藤宗丕 井上賀雄 田中雄吉 昼間

謹賀新年

昭和六十年元旦

◎本会役員及び篤志会員

相談役	朝香 孚彦	篤志会員	大野 克一
会長	浮田 信彦	同	嘉村 栄一
副会長	佐藤 宗丕	同	木ノ下 甫
同	三ツ木 正次	同	ケイス・エス・ジョン・ウィリアムス
同	井上 賀雄	同	ジョーン・ウィリアムス
同	田中 雄吉	同	瀬沼 光久
同	井上 賀雄	同	瀬沼 光久
同	荒木 常平	同	土屋 秀夫
同	大高 吉郎	同	徳原 徳子
同	岡野 正太郎	同	徳原 徳子
同	木村 久満	同	中島 昌彦
同	木村 久満	同	中島 昌彦
同	国松 文江	同	成田 喜代治
同	小泉 文江	同	西村 祐造
同	佐竹 文江	同	長谷川 栄次
同	柴崎 文江	同	長谷川 栄次
同	高橋 功晃	同	松平 永芳
同	高山 功晃	同	松平 永芳
同	山口 功晃	同	村岡 達志
同	秋山 功晃	同	森岡 喜久雄
同	高橋 功晃	同	横溝 幸四郎
同	石井 功晃	同	横溝 幸四郎
同	篤志会員	同	木光 江

楽平 荒木常子 山口良二  
◎ 慰霊祭実行委員  
全役員

◎ 直会委員  
大高吉郎 佐竹エス 木下満子 高橋功  
右の各委員会とも適任者があれば、  
会員の中から随時増員することとして  
おります。

奉仕下さる方はお申出下さい。

本部  
郵便番号 一五四  
東京都世田谷区野沢 三丁目十一番三号  
マーシャル方面遺族会  
電話 〇三—四二四—四三〇〇番